

調査の概要と結果報告

全国学力・学習状況調査

平成29年4月18日に「全国学力・学習状況調査」が市内小・中学校17校で実施されました。市教育委員会では、今後の教育施策と指導に役立てるため、市校長会と学力向上推進委員会を組織し、結果を分析し考察を行いました。

調査結果の概要

教科の平均正答率
 全国・県と「ほぼ同じ」「上回る」
 教科に関する調査では、本市の小・中学校の平均正答率が全ての教科で全国や県と「ほぼ同じ」「上回る」範囲の結果になりました。

生活習慣や学習環境等への調査
 4項目に改善傾向

本市の児童生徒は朝食を毎日食べることや起床就寝の時刻がほぼ決まっていることなど、基本的な生活習慣が身につけており、地域の行事に参加する良さがあります。
 また、「安曇野市学力・体力向上4カ年計画」で注目している日々の授業等に関わる4つの設問について、過去4年間の変化を見ると緩やかな改善傾向が見られます。(グラフ1～4)

国学校教育課教育指導室 (TEL 71・2461 FAX 71・2338)

市教育委員会と各校の取り組み

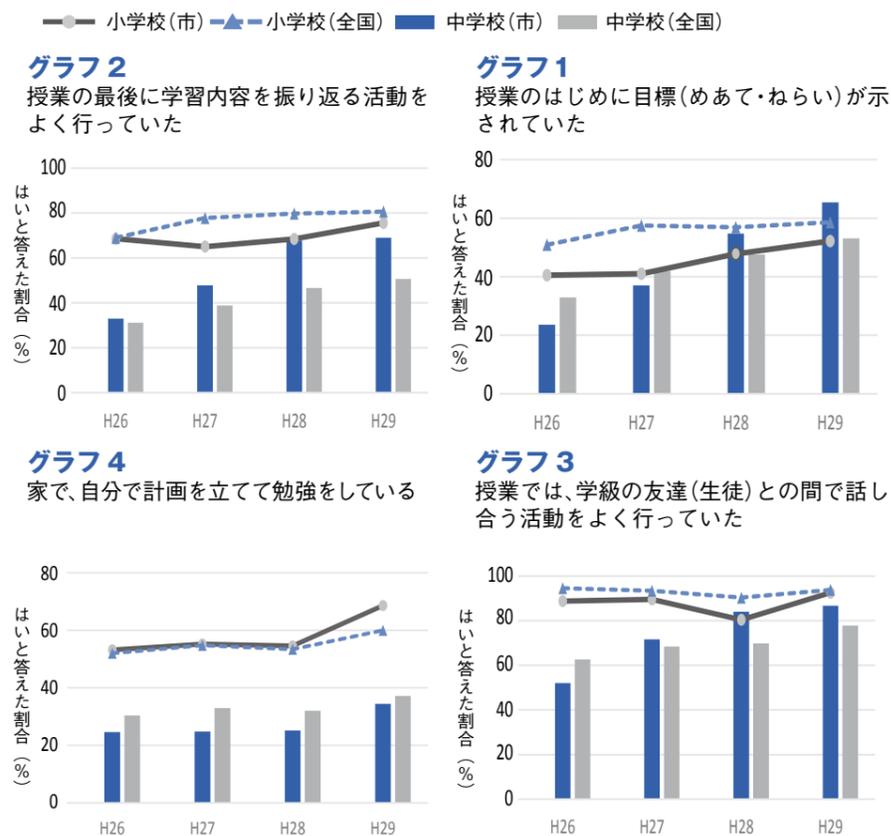
市教育委員会と各校は、調査を通して把握した児童生徒の実態を教育施策や教育活動に役立てるため、関係機関と連携しながら次の取り組みを行います。

教育委員会は

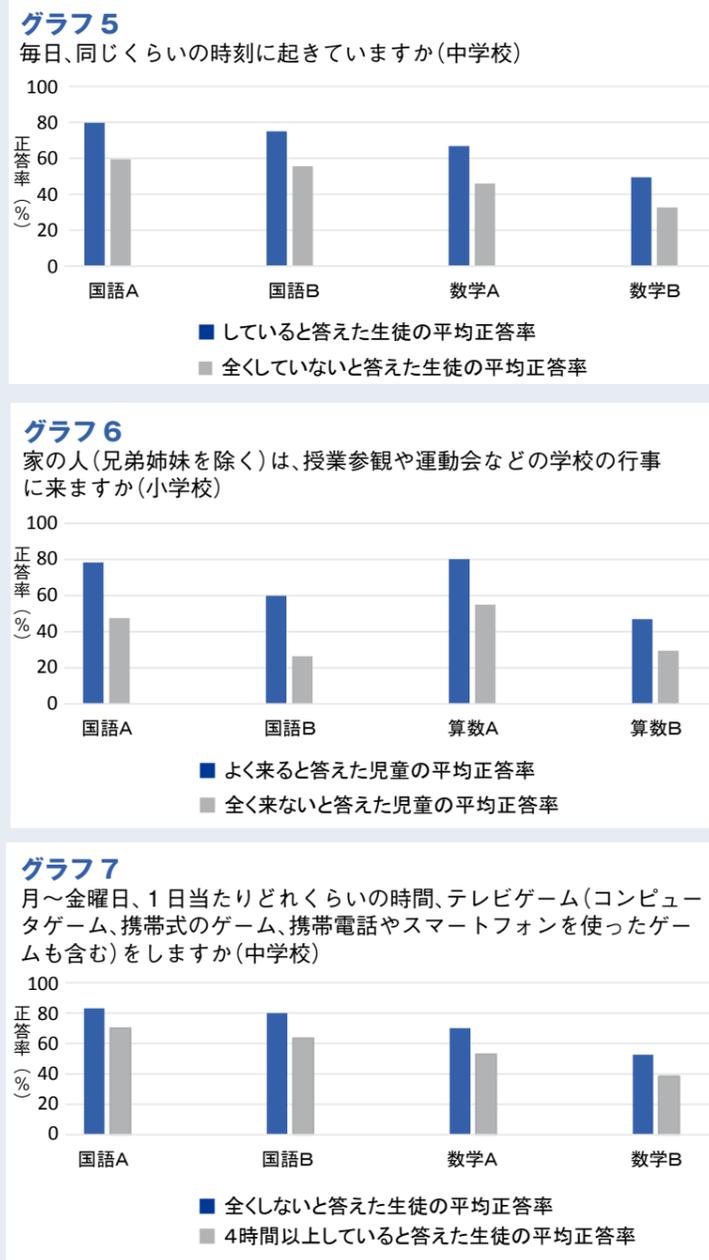
- ①全国学力・学習状況調査の分析から見えてくる児童生徒や学校の評価や課題を、日々の教育活動に生かせるように支援していきます。「学力・体力向上4カ年計画」の各校への定着を進め、指導主事の学校訪問等で日々の授業改善を支援します。
- ②基本的な生活習慣や家庭学習の一層の定着を図るために、市校長会・市教育会・市PTA連合会と協働で作成した「家庭学習のすすめ」の理解と活用を進めていきます。

【調査の概要】
 実施日 平成29年4月18日(火)
 実施学年 小学校6年生(10校、834人)、中学校3年生(7校、913人)
【調査の内容】
 ①教科に関する調査
 国語(A・B)
 算数(A・B)・数学(A・B)
 ※区分Aは、主に「知識」に関する問題、区分Bは、主に「活用」に関する問題
 ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果



教科調査と質問紙調査のクロス集計 (抜粋)



学力調査結果と学習状況調査結果のクロス集計を分析すると、次に示す項目で「している」「当てはまる」「そう思う」と答えた児童生徒の正答率が比較的高い傾向が見られました。

各家庭で生活習慣を考えるなどお子さんを支える視点として参考にしてください。

【小・中学校共通の例】

- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている(グラフ5)
- ・家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事によく来る(グラフ6)
- ・普段(月～金曜日)、1日当たりテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする時間は、1時間より少ない(グラフ7)

【小学校の例】

- ・家で、学校の宿題をしている
- ・今住んでいる地域の行事に参加している
- ・学校のきまりを守っている

【中学校の例】

- ・友達に会うのは楽しい
- ・好きな授業がある
- ・自分には、良いところがある



※調査結果の詳細は、市のホームページ、または市教育委員会(3階7番窓口)で閲覧できます。

①基本的な学校での学習や生活の習慣を形成するとともに家庭学習の定着のために、市教育委員会や家庭、地域と連携をしながら取り組んでいきます。またさまざまな機会を通して家庭に協力を呼びかけたり、支援をしたりしていきます。

②児童生徒が、授業や学校生活、家庭学習などについて自分の課題を知り、自ら改善していくことができるように、児童生徒と各家庭へ具体的な指導・助言や支援を行っていきます。